PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 59157603 A

(43) Date of publication of application: 07.09.84

(51) Int. CI

G02B 7/02 G02B 3/00

(21) Application number: 58033031

(22) Date of filing: 28.02.83

(71) Applicant:

CANON INC

(72) inventor:

AOYANAGI MASAO FUJIBAYASHI KAZUO

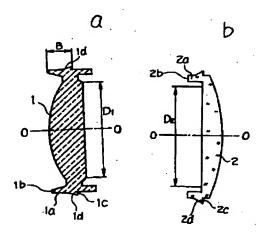
(54) HOLDING STRUCTURE OF LENS

(57) Abstract:

PURPOSE: To incorporate a lens directly without using any other parts, etc., and to facilitate the incorporating operation and improve its accuracy by molding integrally collar parts, etc., on outer circumferences of molded lens bodies and reinforcing them by ion exchange, etc.

CONSTITUTION: The molded lenses 1 and 2 are provided with the collar parts 1a and 2a on the outer circumferences of the main bodies; those collar parts require size precision and physical strength as abutting parts 1b and 2b and detaining parts 1c and 2c forming tapered surfaces 1d and 2d are the same. Glass surfaces at respective positions of the optical glass of each lens is made different in composition to increase the strength. For this purpose, a reinforcing treatment by ion exchange is carried out. Namely, lithium molten salt is brought into contact above the dislocation temperature of the glass materials of the molded lenses 1 and 2 and below the softening point to substitute glass composition components with Li.

COPYRIGHT: (C)1984, JPO& Japio



(JP) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59-157603

①Int. Cl.² G 02 B 7/02 3/00 識別記号

庁内整理番号 7403~2日 7448~2日 ⑤公開 昭和59年(1984)9月7日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 5 頁)

❸レンズの保持構造

②特

夏 昭58—33031

青柳昌雄

砂田

顧 昭58(1983)2月28日

@発 明 ₹

川崎市高津区下野毛770番地キャノン株式会社玉川事業所内

②発 明 者 藤林和夫

川崎市高津区下野毛770番地キャノン株式会社玉川事業所内

の出 願 人 キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番

2号

の代 理 人 弁理士 丸島能一

男· 相 書

1、 强明 〇名称

レンズの保持構造

- 2. 特許請求の範囲
 - レンズをブラスチンク材料又は先学ガラス 材料にて成形加工した政形レンズの保持構造 にかいて、前記成形レンメの非有物面の外層 上に政成形レンズを保持するレンス保持選材 と直接的叉は間接的に突き当たる突き当て部 と前記外周上に先軸に対して交触する方向に 煩虧したテーパー部を有する係止部を設け、 前記レンス保持部材は前記成形レンスと嵌合 する篏合型と、向配成形レンスの失き負て部 と咀接的に又は他のレンメを介して開設的に て前記成解レンズの光鶴上の固定の差 単位世を定める当接部と前記数合態の光軸方 向の鋸塡から龙椒に沿り万向に伸びるととも りぬき部を設けた郷内係止片を有し、前 記載がレンズを質配レンズ保持部材の前記発 き当て私に政策又は間貌に突を当てて前間係

止片を前記テーベー部に沿つて押し広げて成形レンスの保止部を前記くりぬき部に係合させ保止片と保止部の低止によつて前記成形レンス保持部材に保持するととを特徴とするレンスの保持機会。

- (2) 筋配係止片のくりぬき器は貫通したくりぬき様又は有底のくりぬき部としたことを臀徴で形式とする。 大方式とする。 とする。 大方式を集まる。 が記述の とする。 大方式を 大方式を
- (3) レンズをレンズ保持部材に保持するために レンズの有効後の外周上に前記レンズ保持部 材と飲合又は保止する特部をレンズ本体と一 体的に成形加工し、前記規部をレンズ本体に 対して配分強化した成形レンズを用いたとと を物徴とするレンズの保持構造。
- . 発明の詳細な説明

本発明はプラスチック材料や光学ガラス材料 によつて作られた成形レンズをレンズ領管内の レンズ保持額に固定するレンズ保持構造に関す ふ。

特国吗 59-157603(2)

近年プラステンク材料・元学ガラス材料等材料面にてカメラ・取扱館・削定器・又は各種允学習域のレンズに適用可能をレンズ材料が開発されて来ている。

又、上記材料を用いて前述の用途に供すべく 成形加工技術の開始が行なわれている。

上記プラステッタ材料・光学ガラス材料はレンズの屈折・反射等の光学作用を行をう有効面の外周上に、眩レンズを保持部材に係止するための係止部を成形加工するととができる。

第1図ョ・第1図りは本発明のレンズ保持構造に適用する成形レンズ1・2の形状を示するのであり、光触り・0を中心とし所定の直径以・D,の複線を前記光学作用のための有効面、それより外周を非有効面と呼ぶ。

1 4・2 m は耐記成形レンズの非有効画の外 周上にレンズ本体 1・2 と一体的に成形した妈 部であり、疎終部の光軸方向の端面 L b・2 b は突き当て部である。該突き当て部 1 b・2 b はレンズ 1・2 を後述レンズ保持節材に組み込 んだ時にレンズ銀筒内の先続に沿う方向のレンズ1・2の固定の基準位置を深める作用をする。 1 c・2 c は成形レンズ1・2 の外周上に設けた保止部であり、旗線上部は前記時報1 a・

けた係止部であり、鉄係止部は前記段部1a・ 2aの外難上に設け、一個にテーパー両1d・ 2dを設ける。

前配係止片4 cは部2回3 に示すようにレング メ保持部材4 の飲合部4 a の場面より光軸まわりに全局に設けず略三等分間隔に設けてもよく。

又、金周に設けてもよい。

第3 殴は然1 図 A 化示した成形レンズ L を第2 図 a · b 、化示したレンズ保持部材に保持した 断面図を示す。

第3回にかいて成形レンス1はレンス4を介 してレンス保持部材4に固定する例を示す。

上記様成にかいてレンズ保持部材4の前記突

き当て部から前配保止件4 c の成形レンズの係止部1 c と係止する位置までの光線に沿う方向の寸法A はレンズ4,と成形レンズ1 の突き当て部先端より前記係止部の係止解面までの寸法 B との和の寸法より製造/するく設定する。この寸法A は、レンズ保持部材4の材質、係止片 4 c の長さ、厚さ等によつて適宜適定する。

新4図代わいて、8は図定舗、10は固定筒 8とレンズ保持圏材6との間に配置された外局 と内局にヘリコイドを有するグブルヘリコイド 前012はピス14によつて鋳記ダブルヘリコイド が12はピス14によつて鋳記ダブルヘリコイド が12はピス14によって鋳記ダブルへリコイド が200 が

レンズ保持器材では前記グブルへリコイド部

特南昭59-157603(3)

上配実施例にかいてレンズ保持部材 4 の係止 片のくりぬき配 4 d は有色の時にしてもよいこ とはもとよりである。-

又、第3回・第4回の実施例にかいて以形レンズ1又は2を他のレンズ2、・2、を介してレンズ段特部材の奥を当て部に実を当てているが成形レンズ1・2を直接レンズ保持部材の奥を当て部に発き当てるように構成してもよい。

以上のように本子変はアラステック材料又は

た学ガラス材料を従来の併撃加工によりずに加 圧成形等の成形加工したレンズを締め付けのビス、締め付けリング等を用いずにレンズ保持器 材に直接的に組み込むことができ、組込作業の 簡優化、正確性を得ることができた。

次に本発明に適用した前記第1図 a・b に示した成形レンズ1・2 について述べる。

20 c は成形用上型を示す。

例えば第5回の成形用型20によって成形レンズ1を光学ガラス材料によって作る場合には、その成形装備として昭和54年特許出題公告第38126号・米国特許第4168961号及び米国特許第4139677号等の明細書中に示された装置を利用することができる。

組成を変えて前記部所の強度を増大する。

飲配各部所の強化の方法としてはイオン交換による強化処理を施す。成形レンズ1・2のガラス材料の転移位度以上軟化点以下の温度域でリチクム(Li) 遊勘程と設施させガラス組成分とLi優換を行なわせる。

文、成形レンズ1・2を第1図a・5に図示した形状に第5回に示した成形用型にて成形様に前記各部所の強化を図る方法として個型によるイオン交換を行なう。

即ち、成形されたレンズ1・2を監督基底を こえない温度域でレンズをそのレンズ中に含ま れるアルカリより大きいイオン学種を有するア ルカリの番融温と短触させることによりイオン 厳典を行なわせる。

4. 図面の簡単な説明

第1凶 a・b は本統例に用いる成形レンズの 断節 bd a

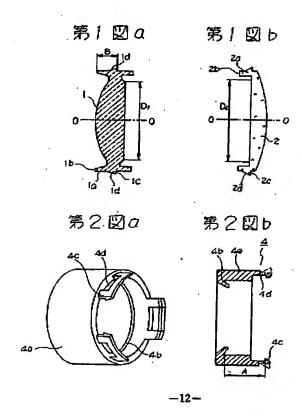
第2回 a・b はレンメ保持部材の斜視図とM 面図 o 群る図はレンズ保持部材化レンズを組み込ん だ場合の動方向所面図。

解 4 図は本語明の他の疾続例の触方向断置図。 第 5 図は成形レンズ 1 ・ 2 の成形加工の成形 用型の所函図。

1・2…収形レンメ

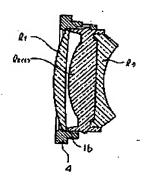
4 …レンズ保持部分

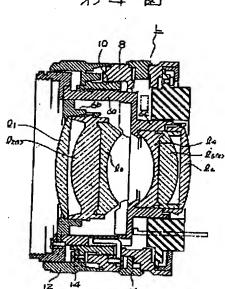
出願人 キャノン株式会社 代理人 丸 島 器 (製造)



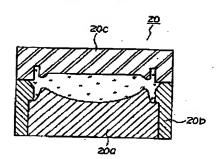


第3図





第5回



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.